

既存試料・情報を用いる研究についての情報公開

本学では、医学系研究に協力して下さる方々（以下研究対象者）の利益と安全を守り、安心して研究に参加していただくように心がけております。こちらに記載されている研究については、研究・診療等により収集・保存された既存試料・情報を用いる研究で、直接研究対象者からインフォームド・コンセントを取得することが困難であるため、情報公開をさせていただいております。

こちらの文書は研究対象者の皆様に、情報公開をするとともに、可能な限り研究参加を拒否または同意撤回の機会を保障する為のものになります。

なお、研究参加を拒否または同意撤回されても一切の不利益はないことを明記させていただきます。

受付番号	倫理第 2896 号
研究課題	解剖学実習で発見した破格を対象とする肉眼解剖学的観察研究
本研究の実施体制	研究責任者：大学院生命科学研究部 形態構築学講座 教授 福田 孝一 研究分担者：大学院生命科学研究部 形態構築学講座 講師 江角 重行
本研究の目的及び意義	献体を用いる学生実習では、血管構築や神経支配などの肉眼解剖学的所見において、しばしば典型例とは異なる破格に遭遇します。その発見を契機として、関連する構造が多くのご遺体ではどのようなになっているのかを調査し、定量的な比較を試みる予定です。また、「破格等に関する知見」は人体構造についての貴重な情報を与えるものであり、学会発表や学術誌への報告等の形で知識を蓄積することが社会的な要請に応えることとなります。
研究の方法	ご遺族による同意を得て熊本大学医学部に献体されたご遺体について、解剖学実習時に破格に遭遇した場合に重点的に観察を実施し、事例等の報告を学会や論文にて発表させていただきます。
研究期間	2024 年 1 月 10 日から 2028 年 3 月 31 日まで
試料・情報の取得期間	2024 年 1 月 10 日から 2028 年 3 月 31 日まで
研究に利用する試料・情報	死亡診断書、解剖学実習で用いたご献体ならびにその所見を研究に使用いたします。 研究利用する試料および情報の保管担当者は研究責任者とし、金庫に保管する台帳と、インターネットから切り離されたパソコン内部で保管しています。保管期間は研究期間終了後 10 年であり、保管期間経過後の研究データについては、復元できないように破棄いたします。 またご遺体についても、解剖実習を行い破格が発見された場合も含めて通常の解剖実習と同様に 1 年以内に火葬を実施し、ご遺族へお返しします。

個人情報取扱

ご献体者の生年月日、氏名、住所その他の個人情報は台帳および外部から切り離されたパソコンで管理されており、また台帳は金庫に保管しています。研究に用いる際には、ご遺体は遺体番号を使用し、個人が特定出来ないよう匿名化を行っています。

研究成果に関する情報の開示・報告・閲覧の方法

ご遺族からの相談があった場合には研究の秘密利益を損なわない範囲で対応いたします。

利益相反について

本研究は、運営費交付金を用いて、解剖実習時に得られた情報を使用します。

本研究の利害関係の公正性については、熊本大学大学院生命科学研究部等医学系研究利益相反委員会の承認を得ております。今後も、当該研究経過を熊本大学大学院生命科学研究部長へ報告すること等により、利害関係の公正性を保ちます。

本研究参加へのお断りの申し出について

ご献体いただいたご遺族の方で、データ（情報）を研究に使用してほしくないと思われる場合は、その旨下記の対応窓口までお申し出ください。それまでに取得されたデータを一切使わないよう対応いたします。その場合でも不利益を受けることは全くありません。上記の研究期間中であれば、いつでもお断りいただけます。

本研究に関する問い合わせ

〒860-8556 熊本市中央区本荘1-1-1

熊本大学 大学院生命科学研究部 形態構築学講座 教授 福田 孝一

TEL：096-373-5040